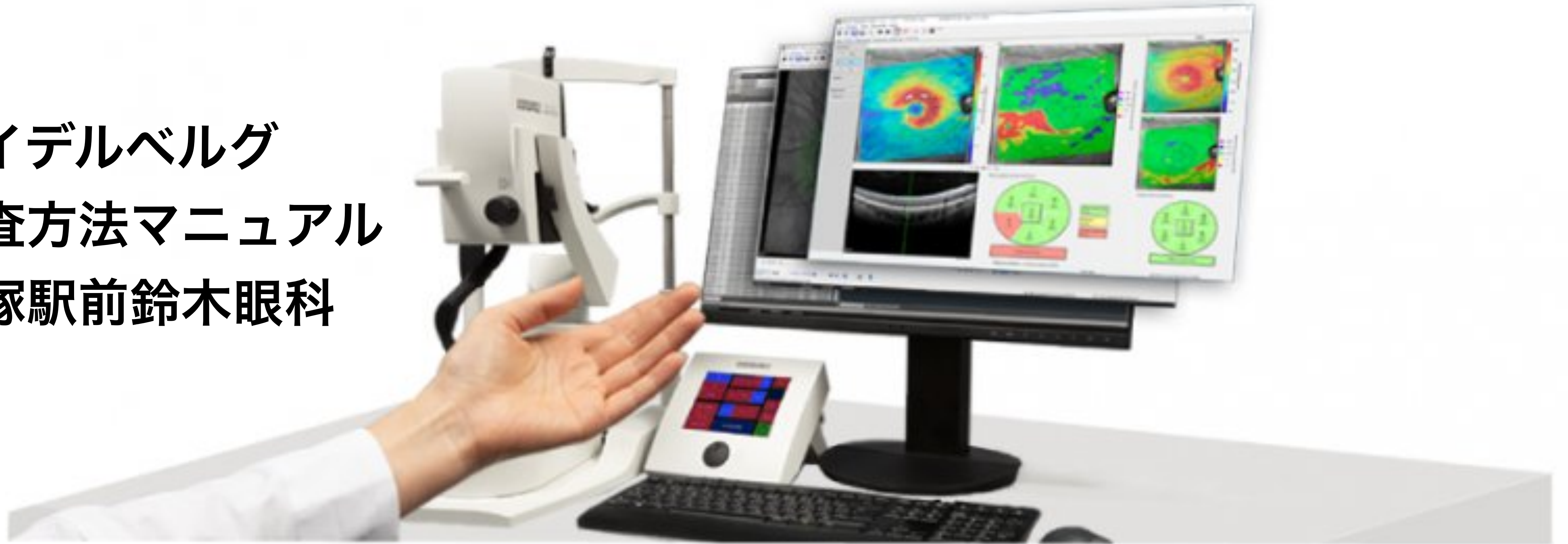
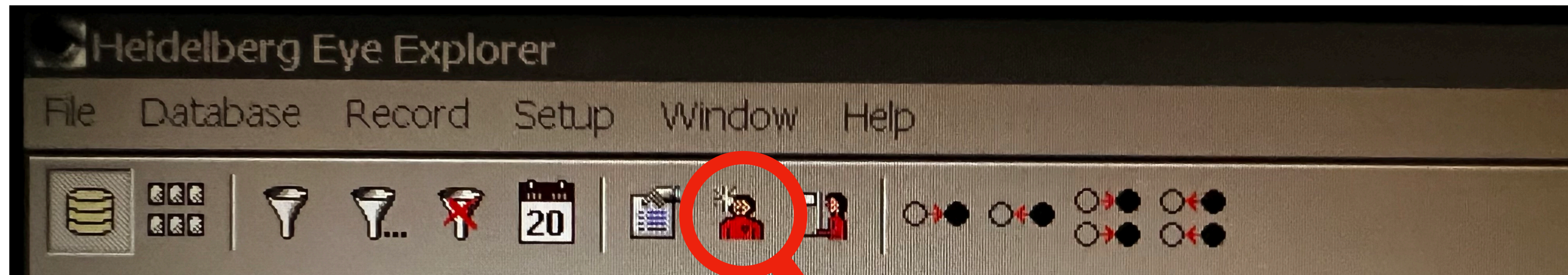


HEIDELBERG ENGINEERING

ハイデルベルグ
検査方法マニュアル
戸塚駅前鈴木眼科



新規患者



1. 上部の正面向きの人マークを押す
2. ローマ字で氏名、生年月日、性別、ID入力
3. 確認してOK (Enter)
4. ポップアップ出てくるので
全てEnterでOK

Patient Data

Patient-DB-ID: 0

Last name:

First name:

Date of birth:

Sex:

Patient-ID:

OK Cancel Apply Help

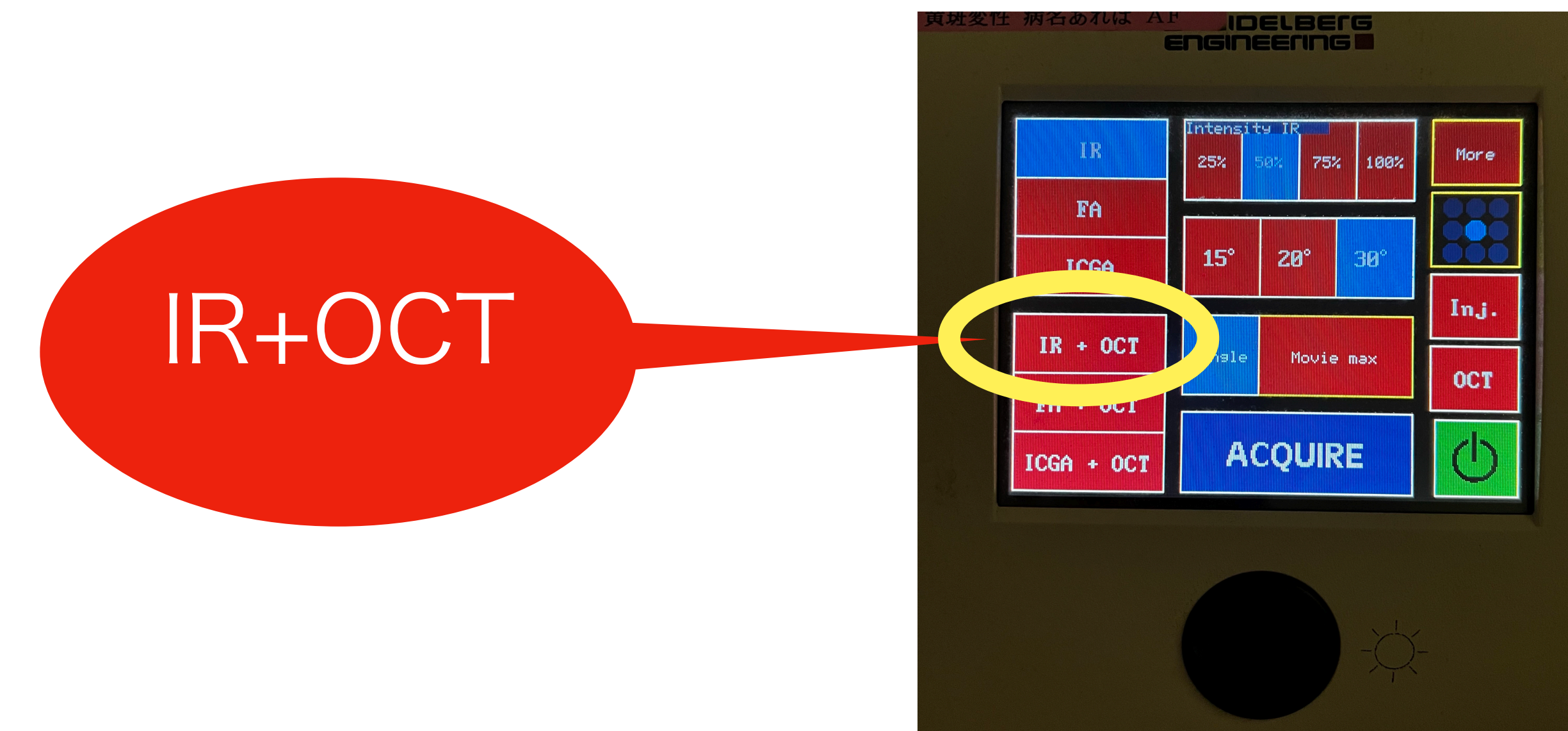
撮影に入る

1.右下の赤い電源ボタンが黄色になったら押す。

2.出てきた画面上から4番目

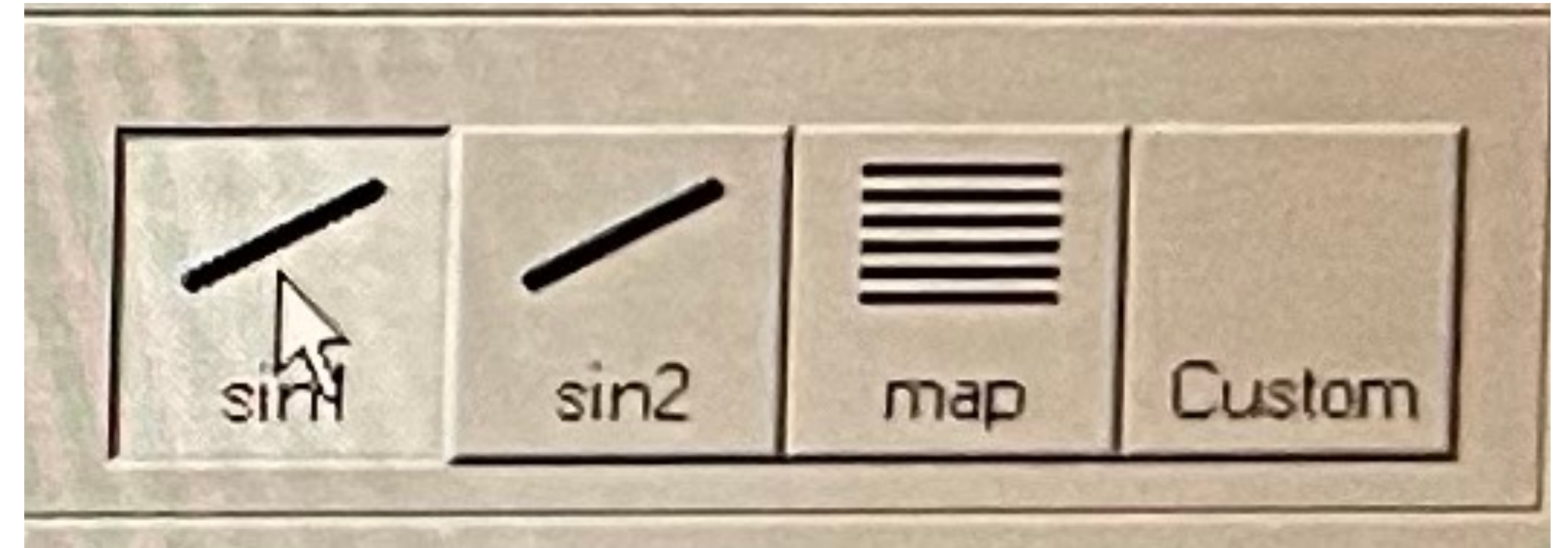
IR + OCTを押す。

ここまできたら、顎台を拭き
お顔をのせてもらう



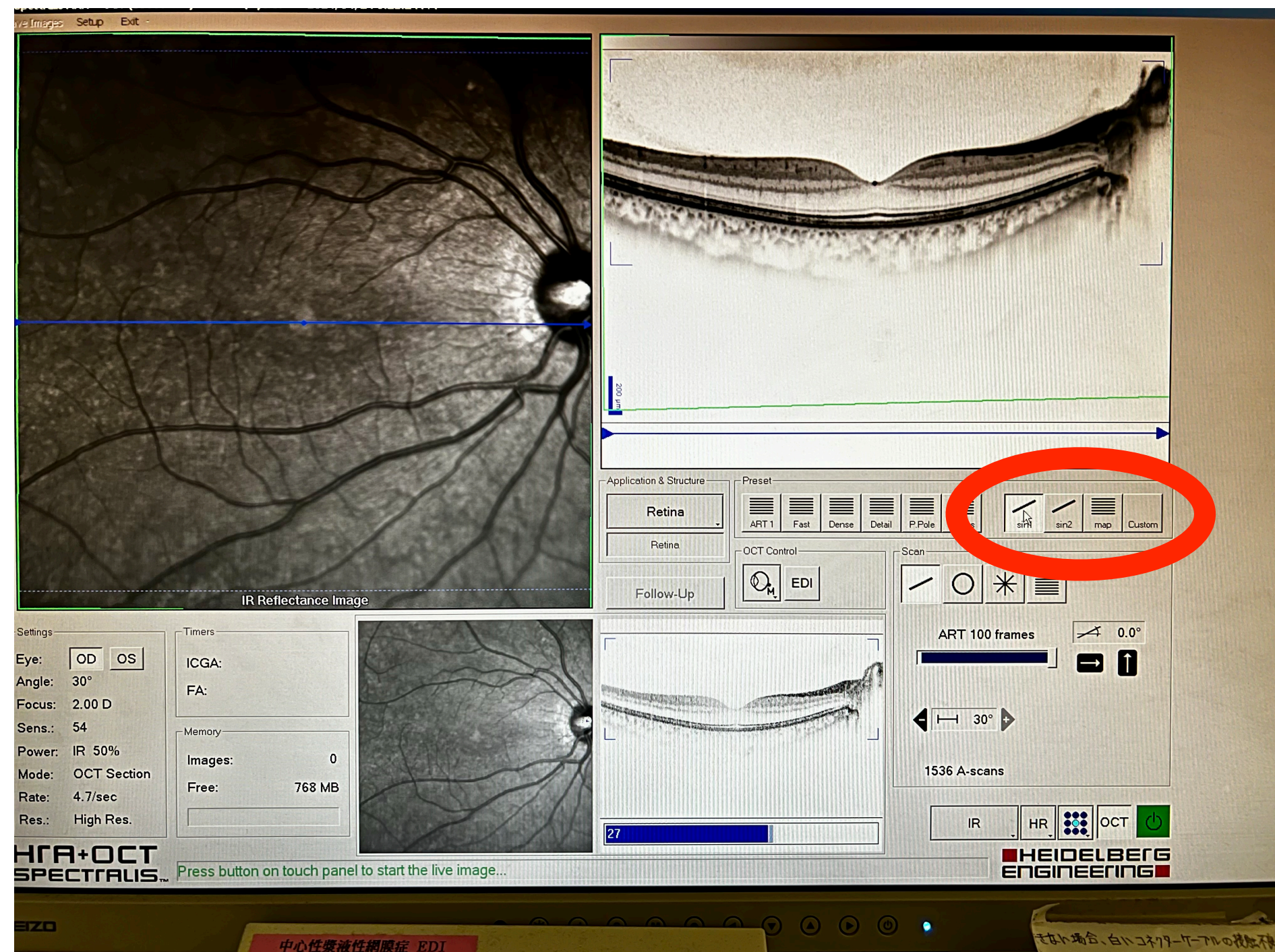
黄斑

Sin1 (横) Sin2 (縦) MAP



網膜が出てくる所まで本体を目に近づけて、sin1を押す。

フォーカスを合わせ、明るさをパネルボタンで合わせる。



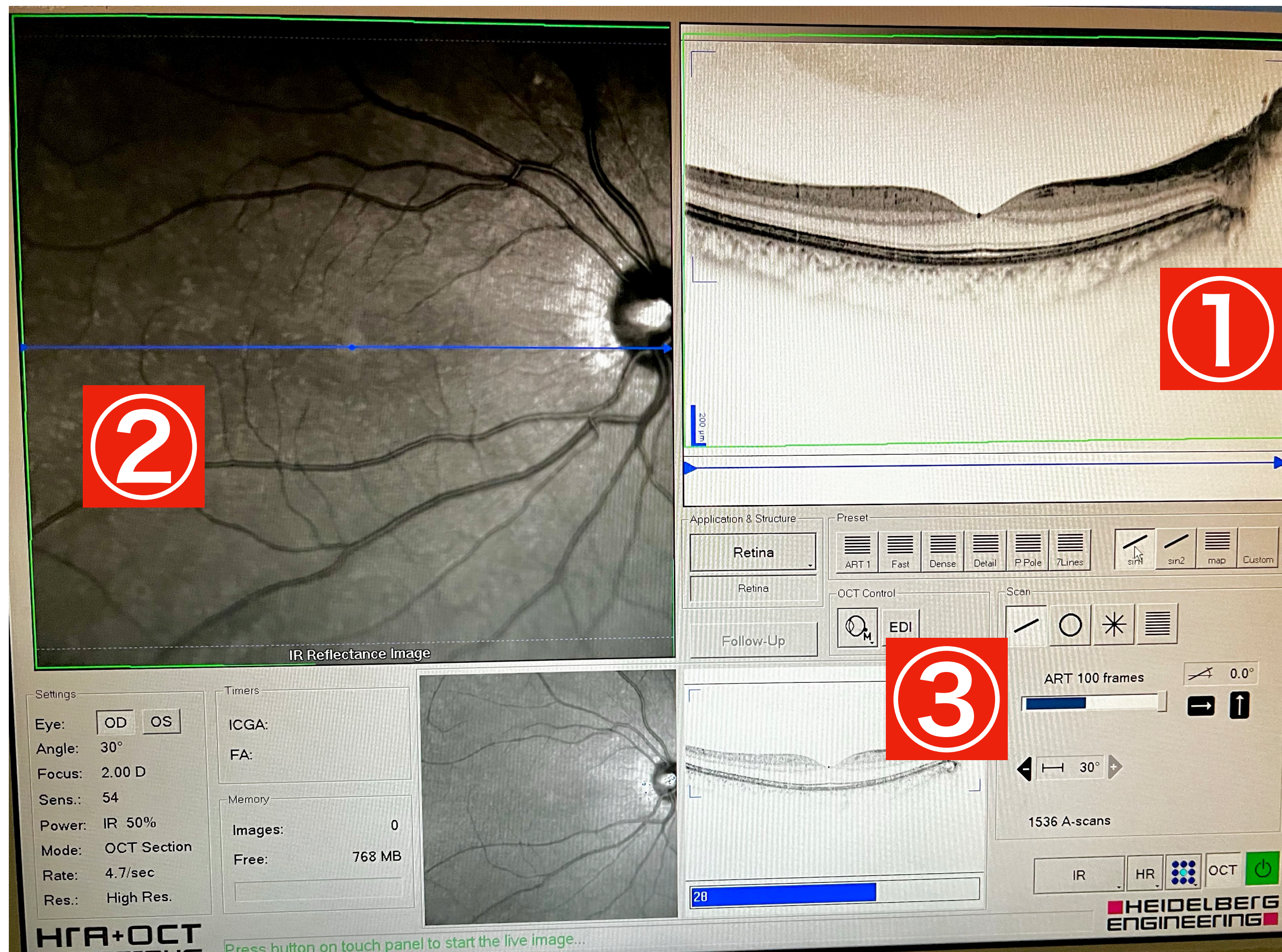
①青枠の中のやや下方に合わせる。

②横線が青くなったのを確認し、パネルボタンを押して、

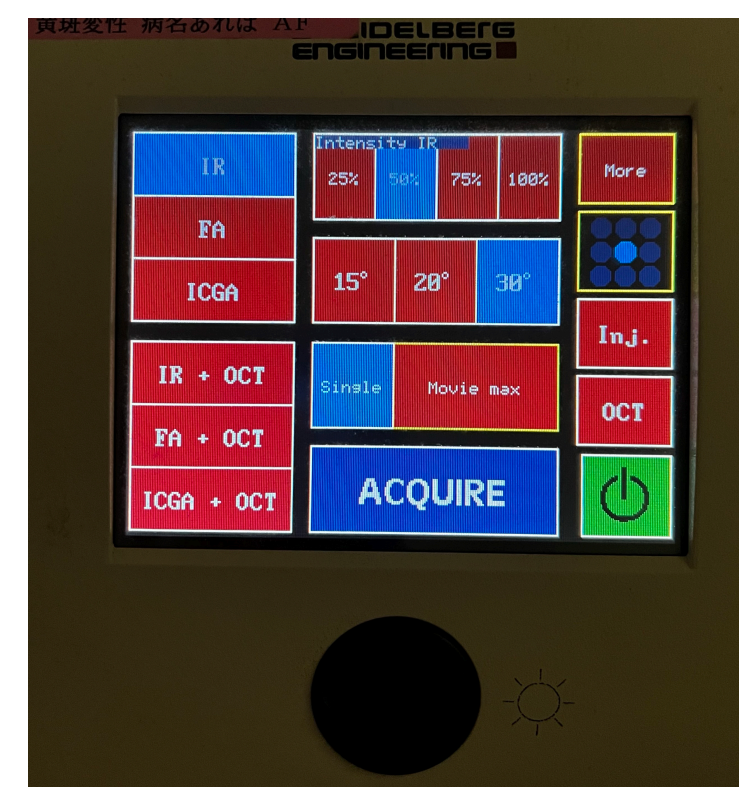
③5～9割ほど青いゲージがたまったら、

④ACQUIREを押してからもう一度パネルボタン押す。

Sin2(縦)も同様に撮る。



④



※①の位置は上すぎると送った時に網膜全体が入っていないことがあるので位置には注意してください。

MAPを撮る場合



MAPを押して、

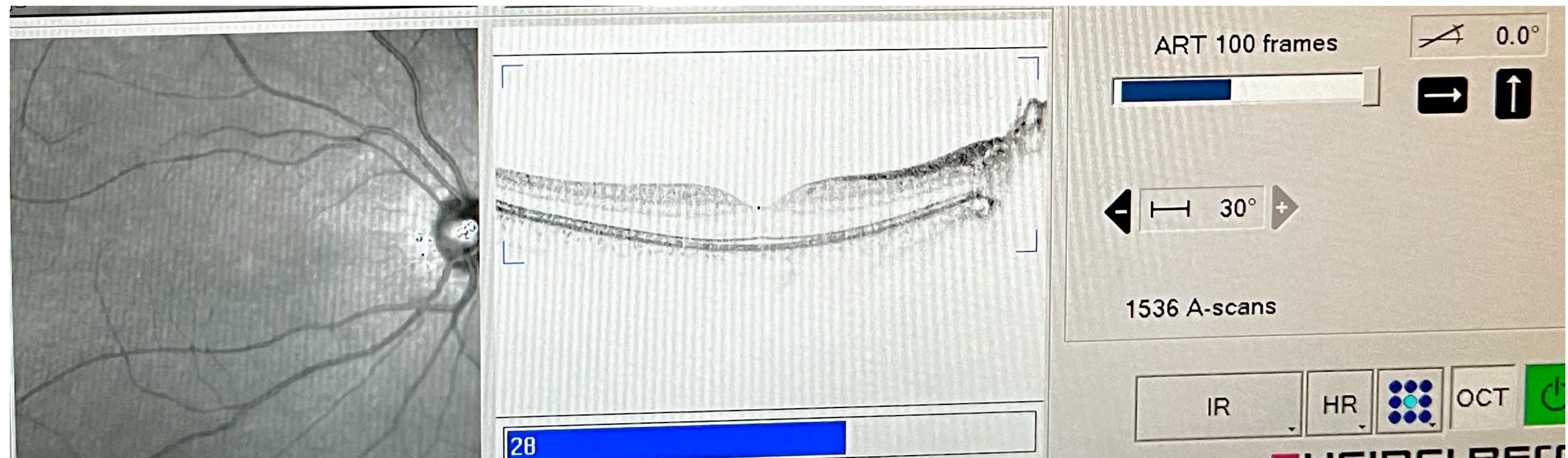
他の線が動くが青い光を見続けることを伝えてパネルボタンを押す。

ゲージが溜まったらACQUIREを押す。

(自身で設定可能)

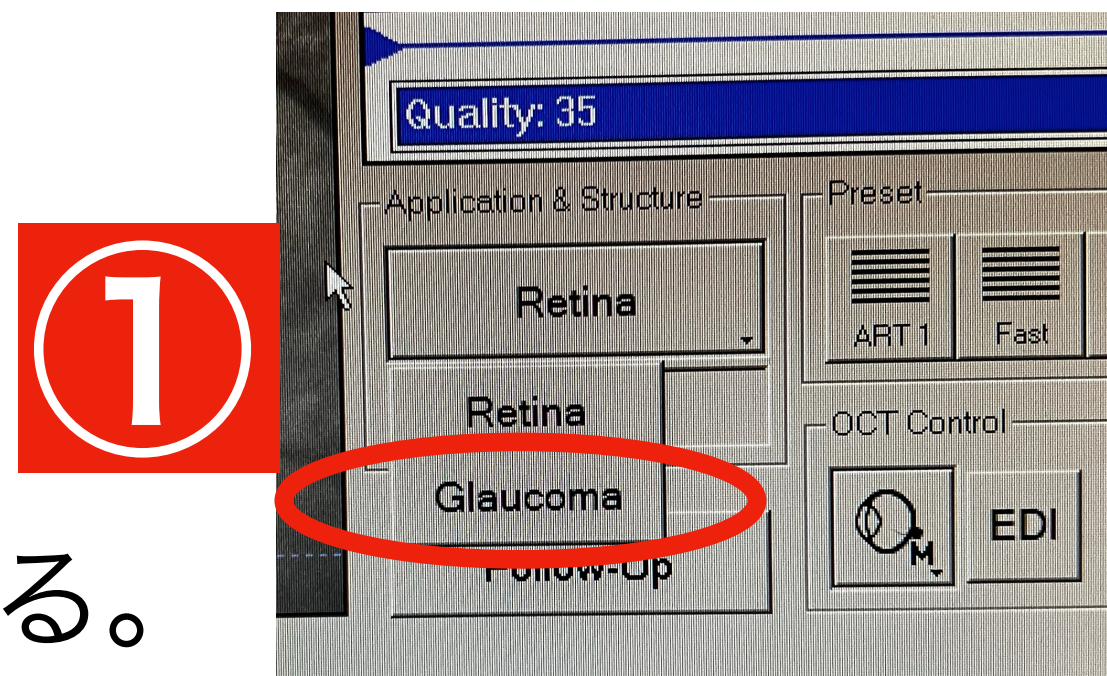
撮影している間、位置がずれないように注意する。

ジョイスティックで動かしながら網膜がはっきりと写るようにし、ずれたら調整しながら撮る。

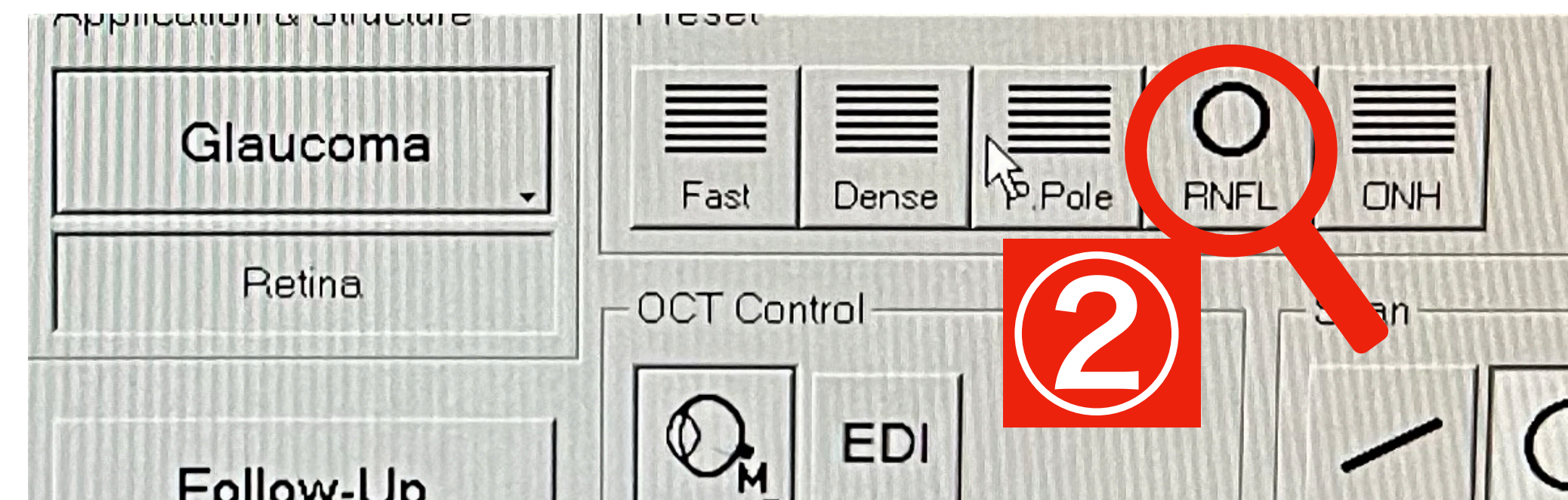


disc

①Retinaを押し、Glaucomaにする。

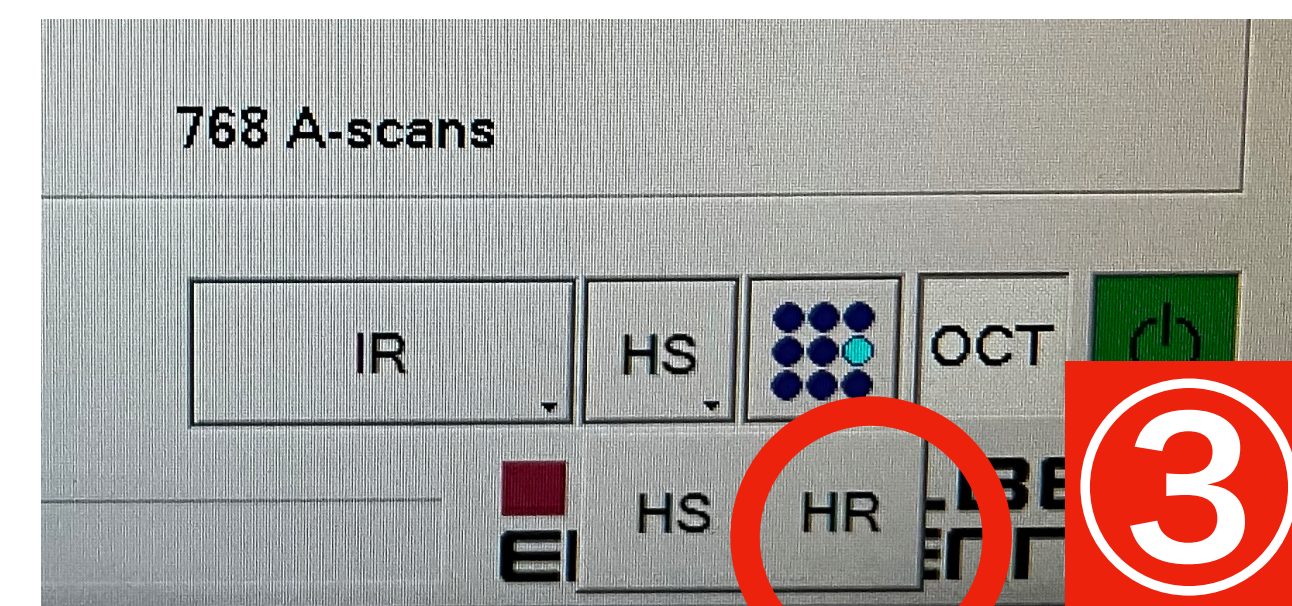


②RNFLを押し、



③右下のHigh.speedをHigh.Resにする。(HS→HR)

右目の場合、視標（青い光）が左側に動くので、視線を動かしてもらおう。



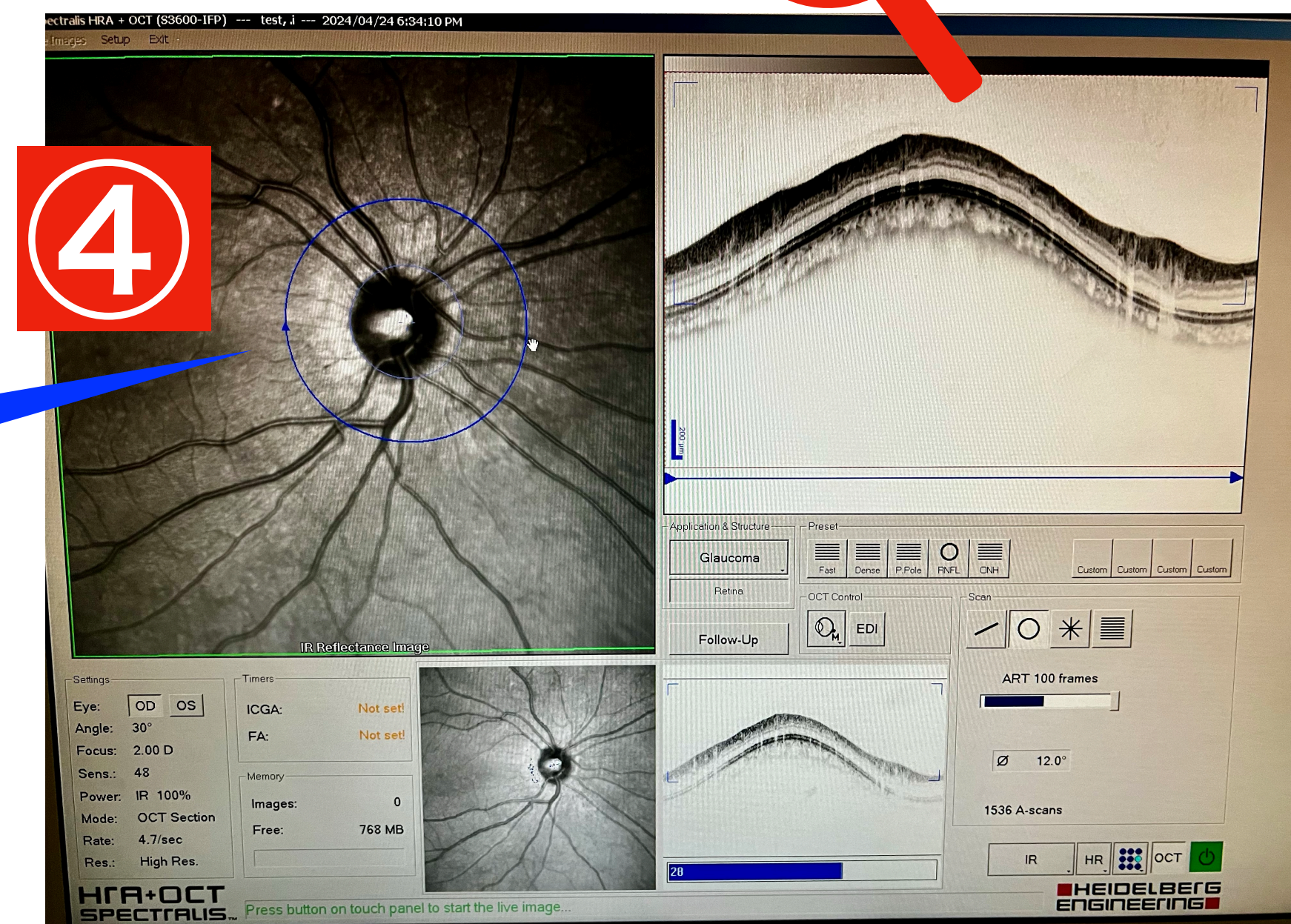
④Discをサークルの中に入れる。

位置をマウスで動かしてしっかり枠に入れ、
パネルボタンを押し。

もう一度パネル押し。

全て撮影が終わったら、
上部のEXITを押し。

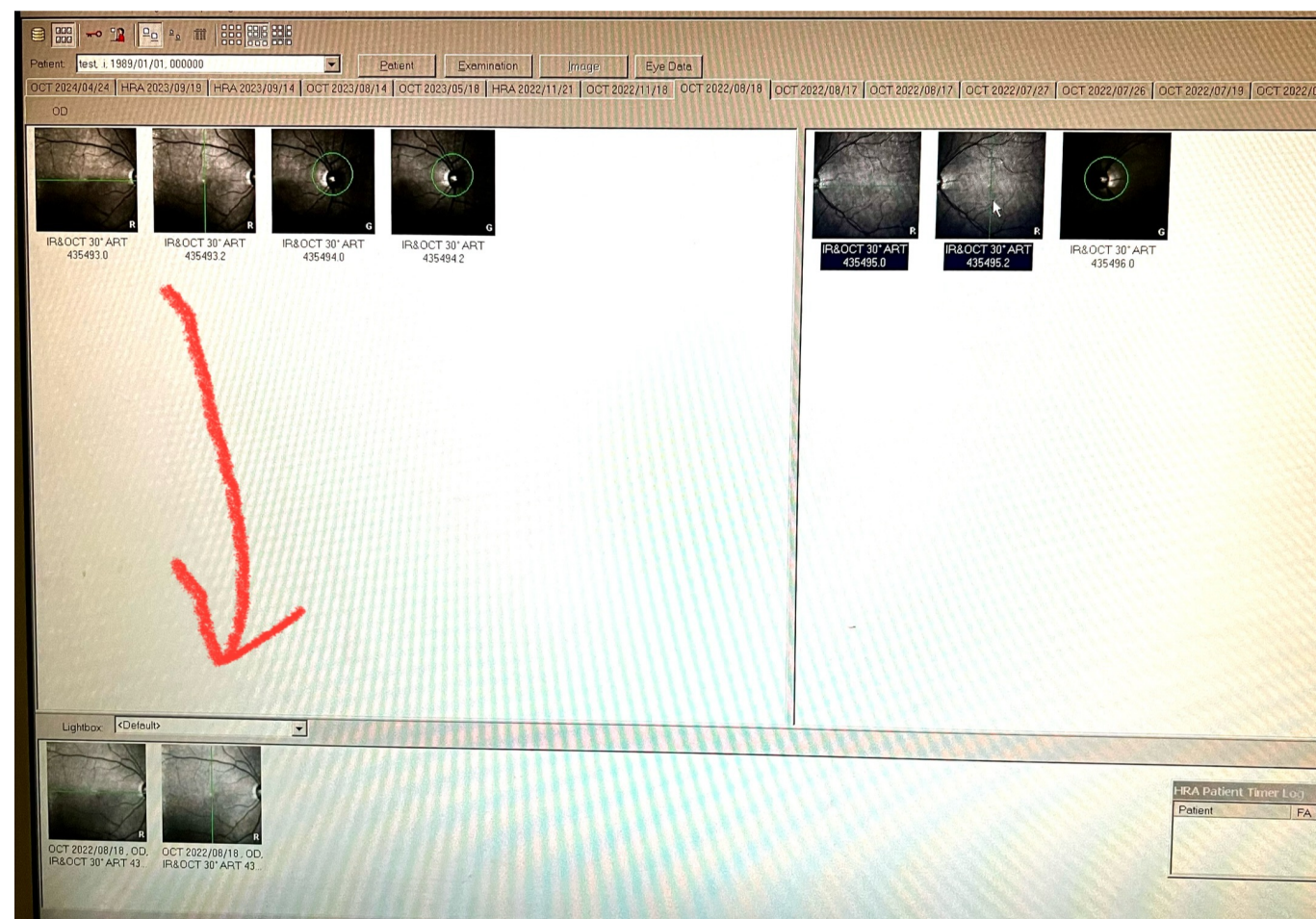
しっかり枠に入れる。
(マウスで動かせる)



データを送る

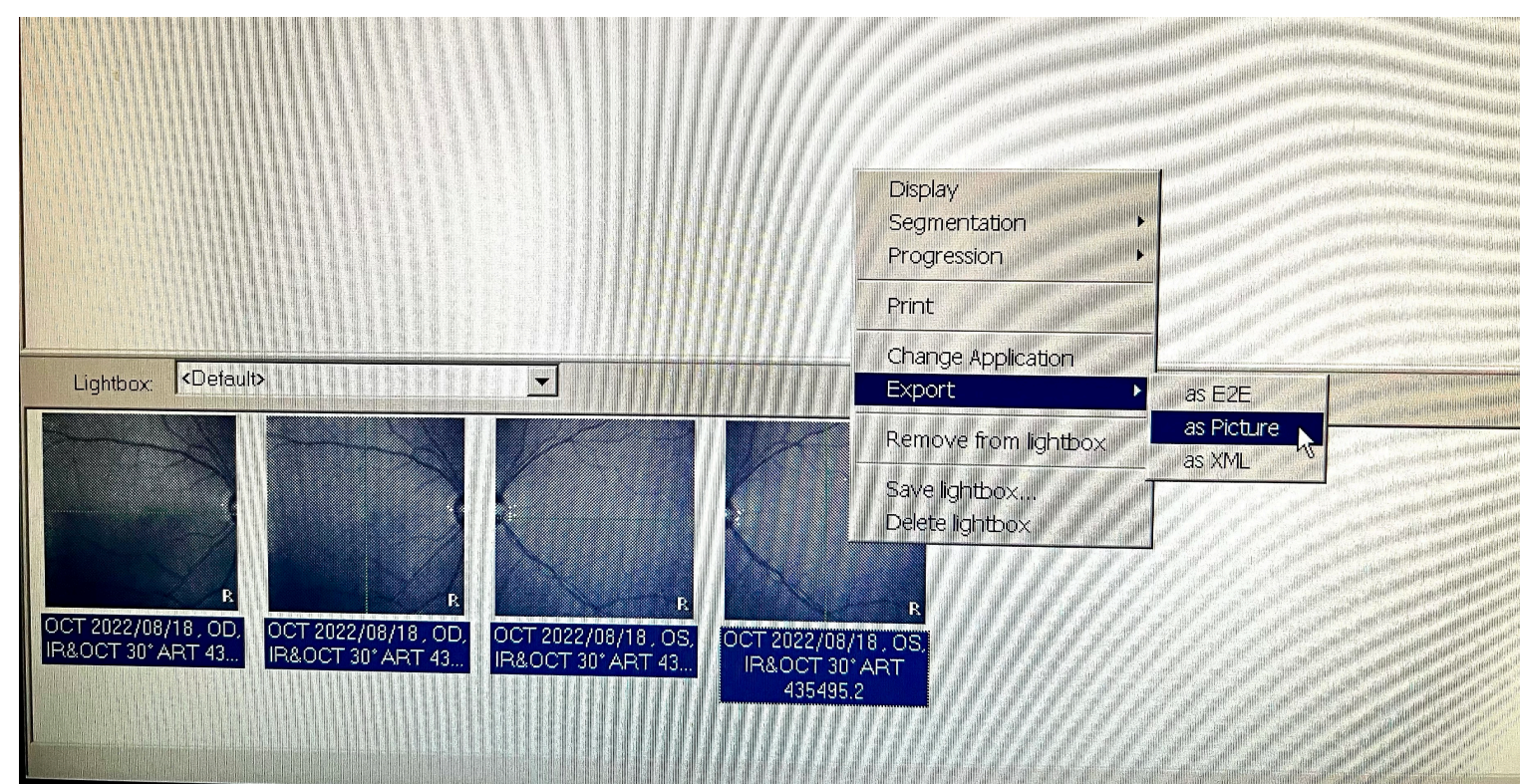
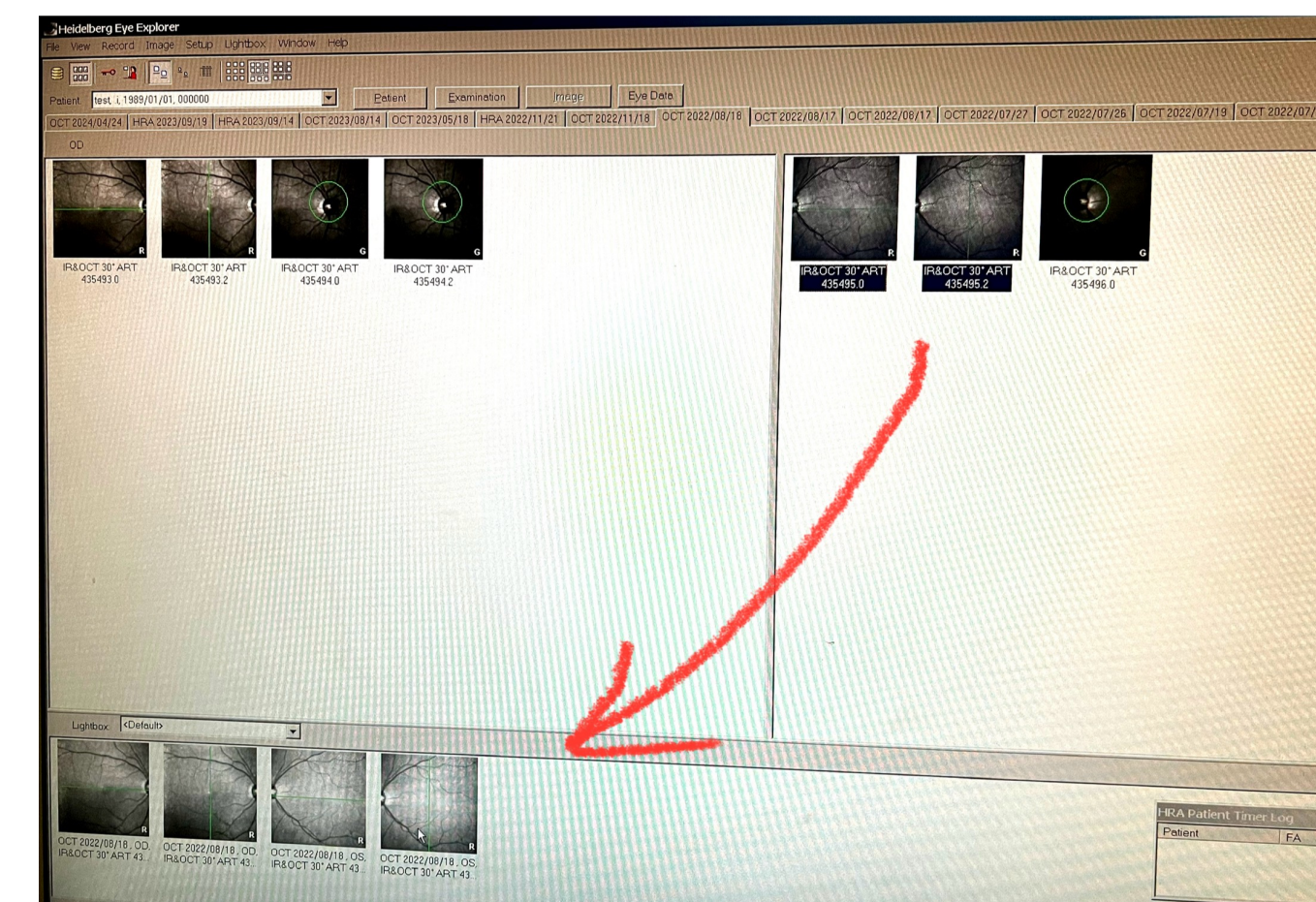
黄斑を送る

- ・黄斑は縦と横を左右それぞれ選択して、ドラックして下方のlightboxに移動させる。
- 移動させたもの全てドラックして、右クリックを押してExport→As picture



画像の下からドラッグすると横に引っ張りやすい

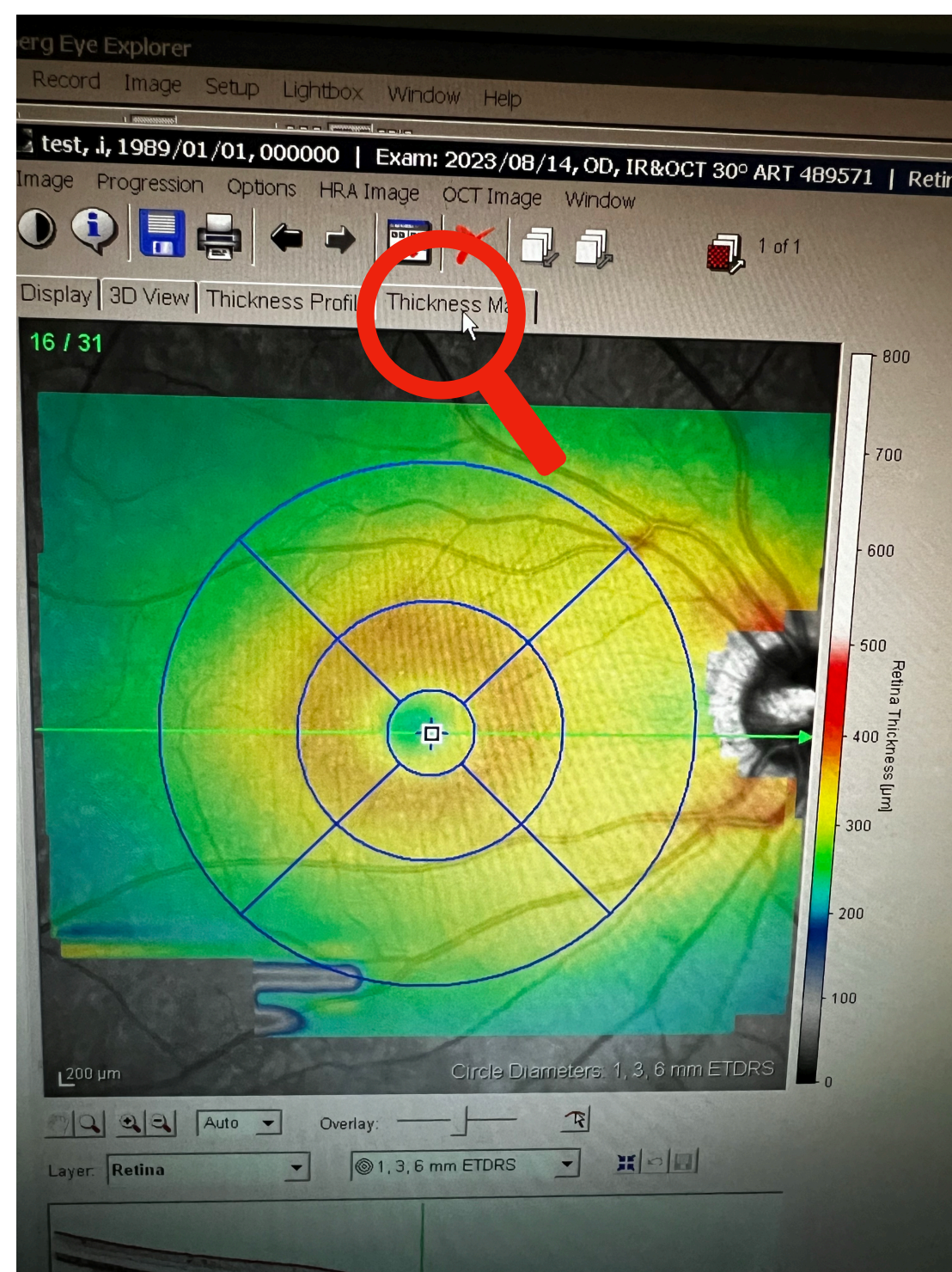
左右それぞれ
下方に移動



データを送る

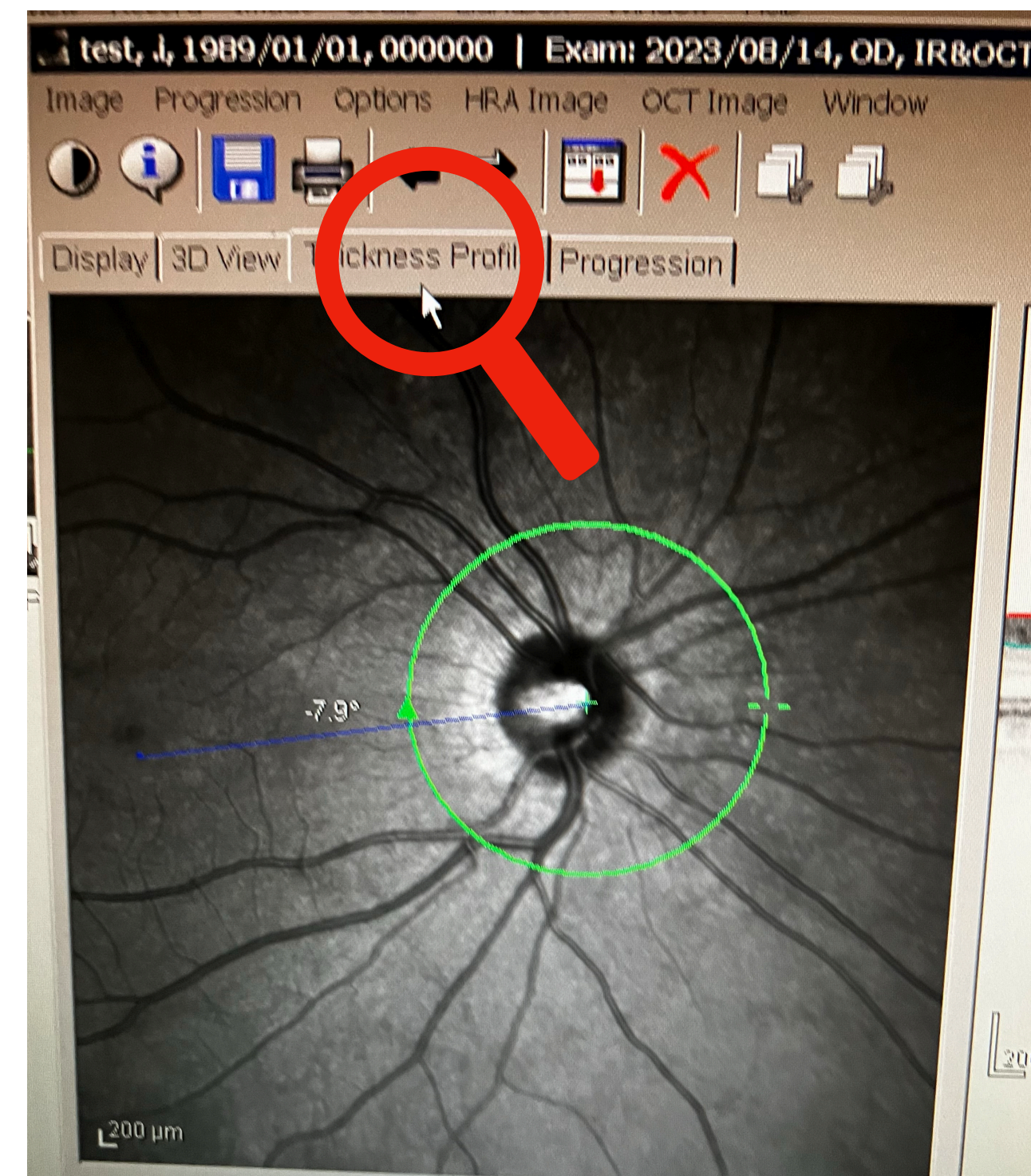
MAP

画像を一枚ずつダブルクリックして、Thickness Mapを押し、Saveで送る。



Disc

画像を一枚ずつダブルクリックして、Thickness Profileを押し、Saveで送る。



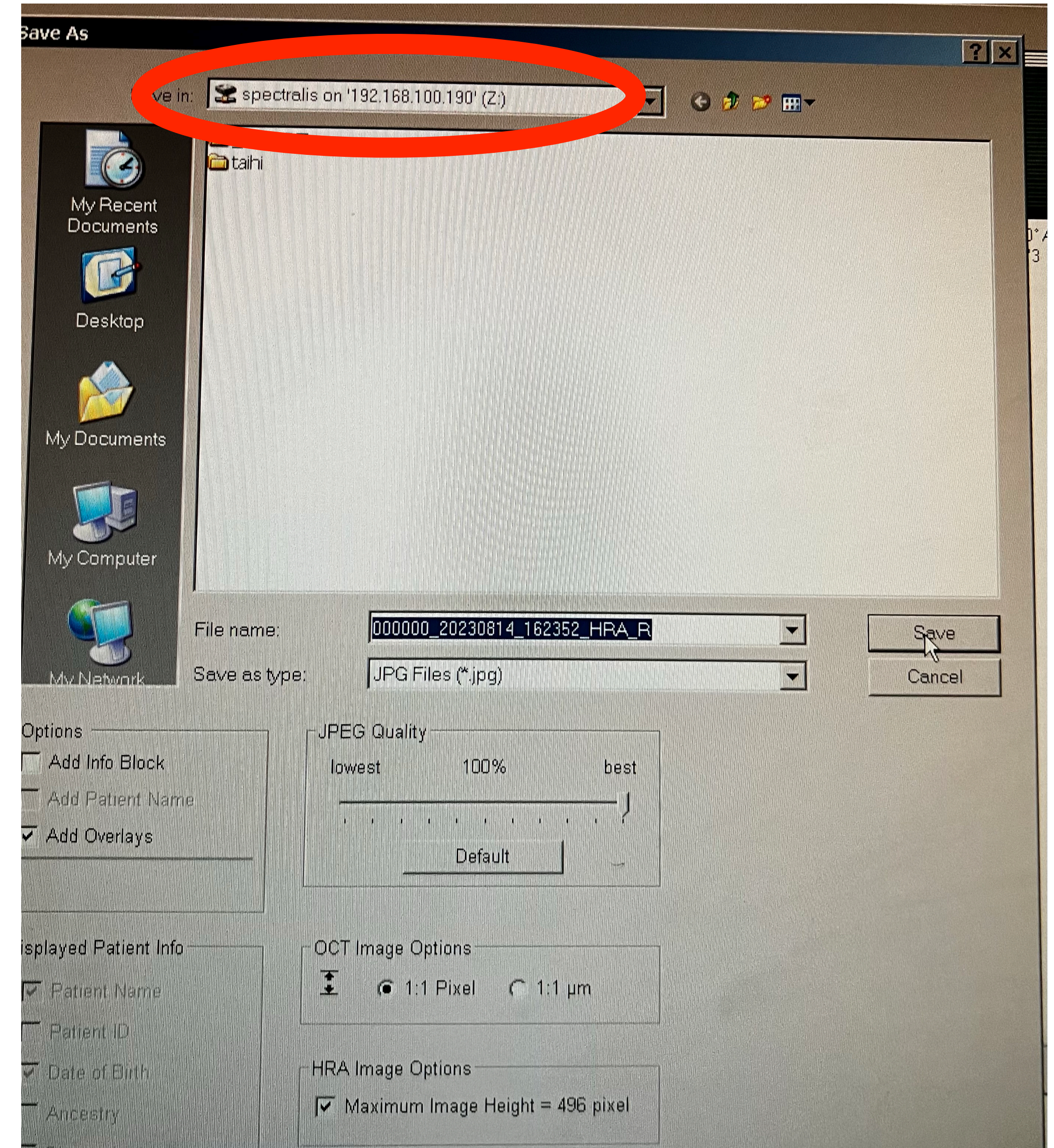
送信先画面が出てくるので、

spectralis on '192.168.100.190' (Z:)

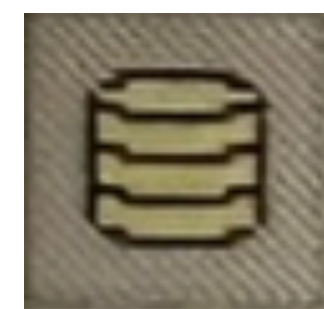
と送り先になっている事を確認し、

(通常はこの送り先になっているのでそのままOK)

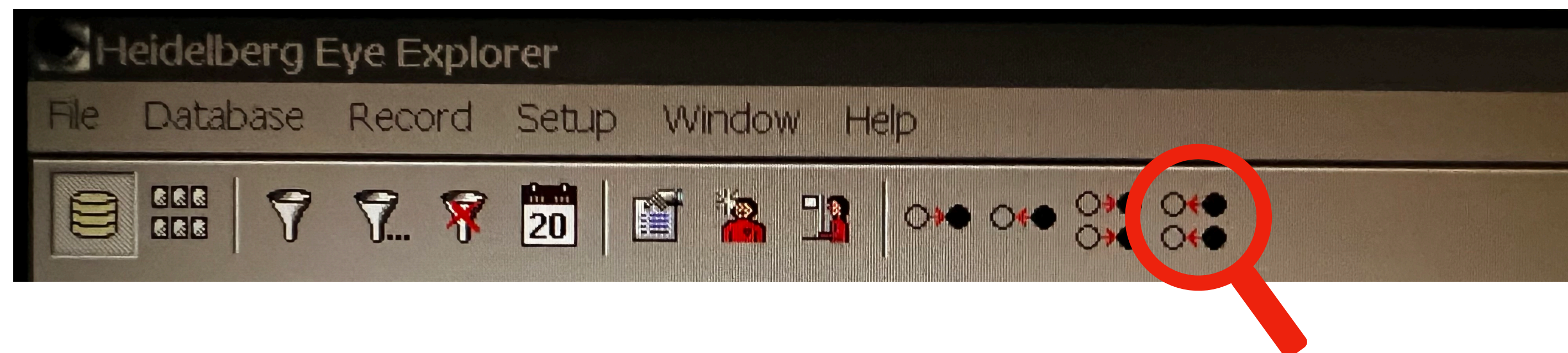
Saveを押して電子カルテへ送る。



送り終わったら、



コインマークを押す



ポップアップメッセージが出てくるので、YES→OK

1番上のマーク  を押して、

右画面白紙にする。

次の人がすぐに入力、撮影が出来るように



Nameが青色になっているのを必ず確認して終了。

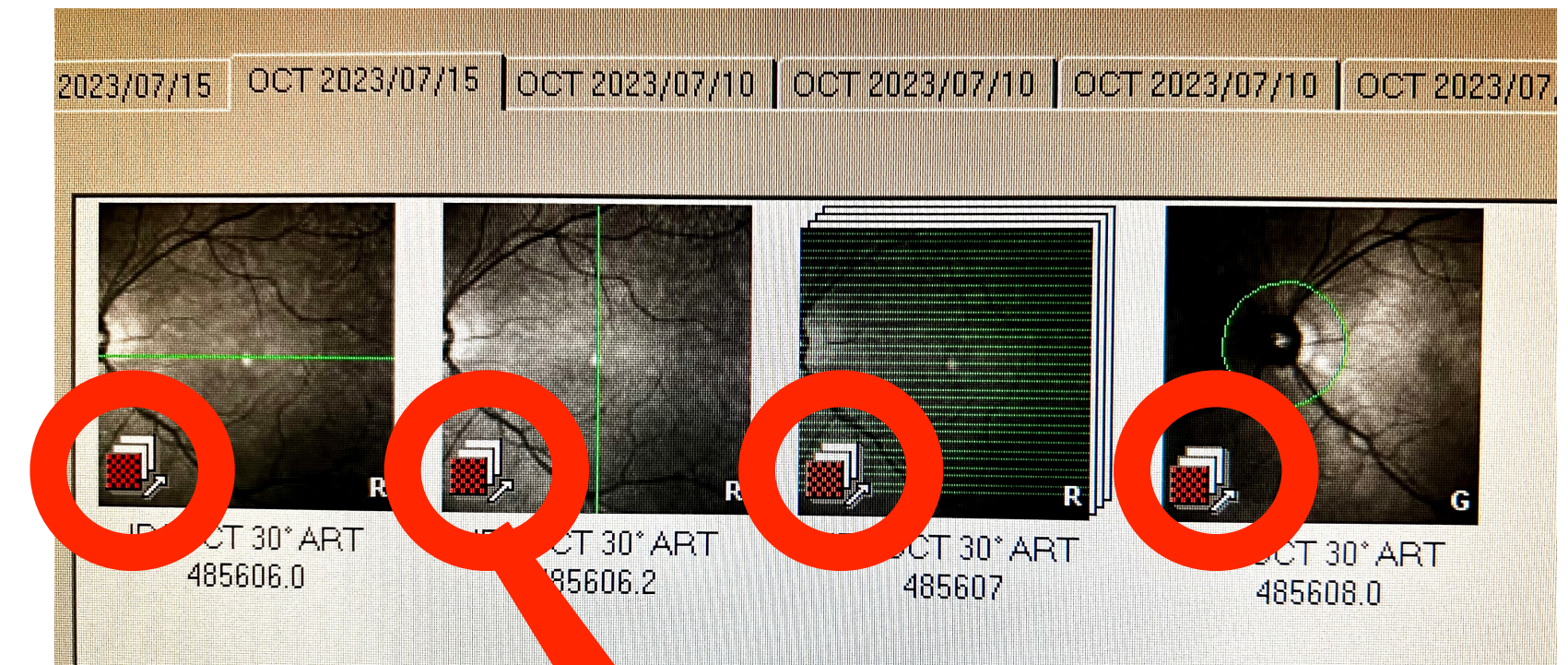
※データの送り方は新規or既存患者同じです。



既存

- 1.IDが青く選択されてるか確認後、バーコードで読み込む。
- 2.画面左側の氏名クリック
- 3.画面右側の氏名クリック
- 4.過去のデータが出てくるので画像をドラック選択して、
右クリック、上から3番目のProgression→Set Referenceクリック。
左右同様にする。

- 5.上部の  を押し一度初めの画面に戻って横向きの人の  を押す。
ポップアップが出てくるので全て肯定系でOK押す。（全てEnterキーでOK）



赤いマークが出ればOK

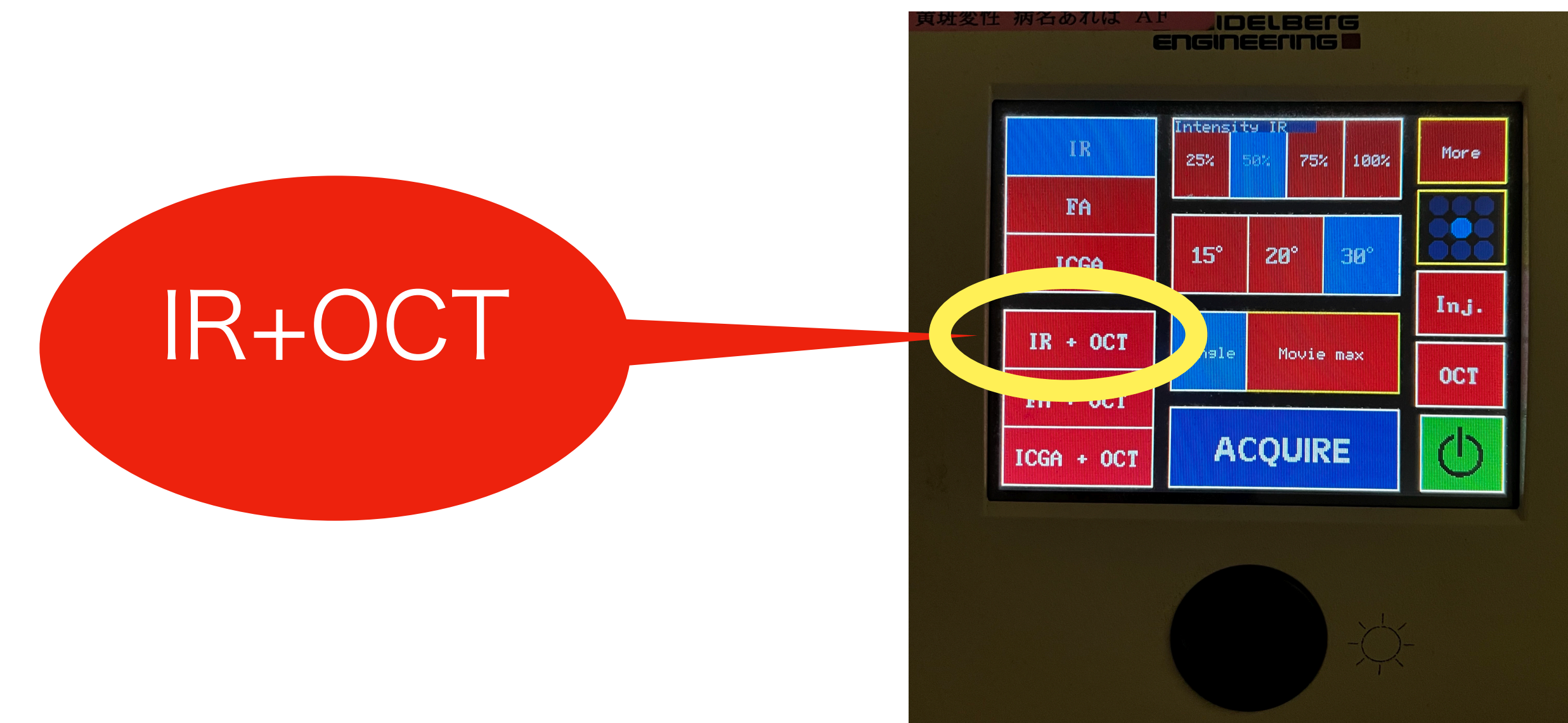
撮影に入る

1.右下の赤い電源ボタンが黄色になったら押す。

2.出てきた画面上から4番目

IR + OCTを押す。

ここまできたら、顎台を拭き
お顔をのせてもらう



黄斑 MAP disc

-右眼測定の場合



を押し、

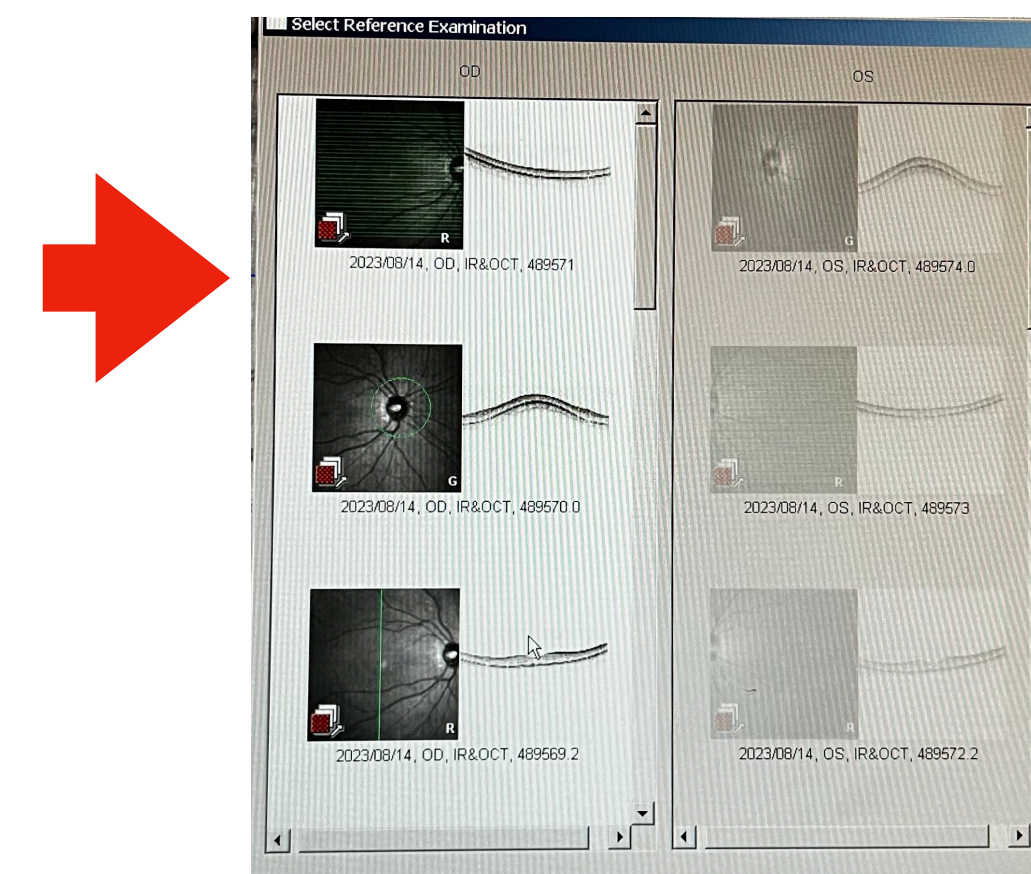
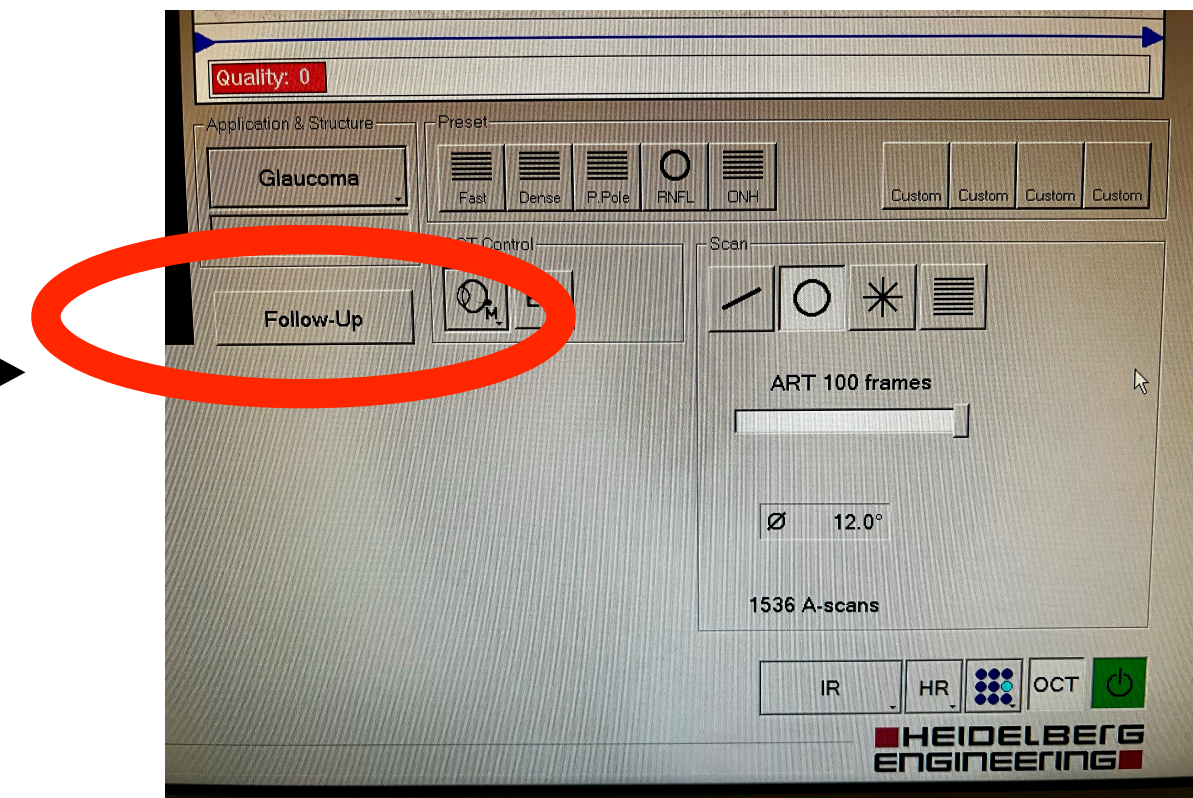
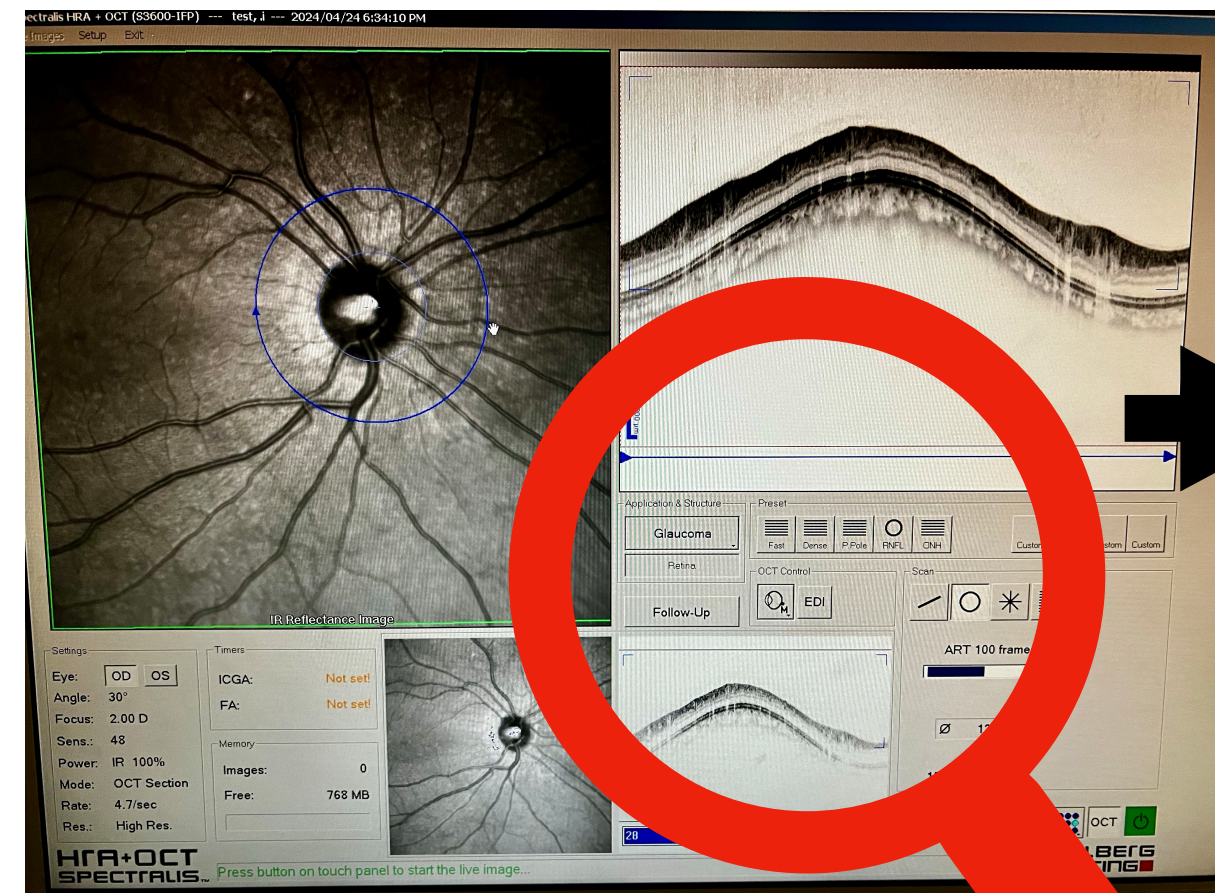
機械を患者側からみて右側に移動し画像をダブルクリックして選択。

黄斑Sin1(横)→Sin2(縦)→MAP→discの順番で撮る。

左眼も同様。

(新規のように撮り終わってもう一度パネルボタン押す必要なし)

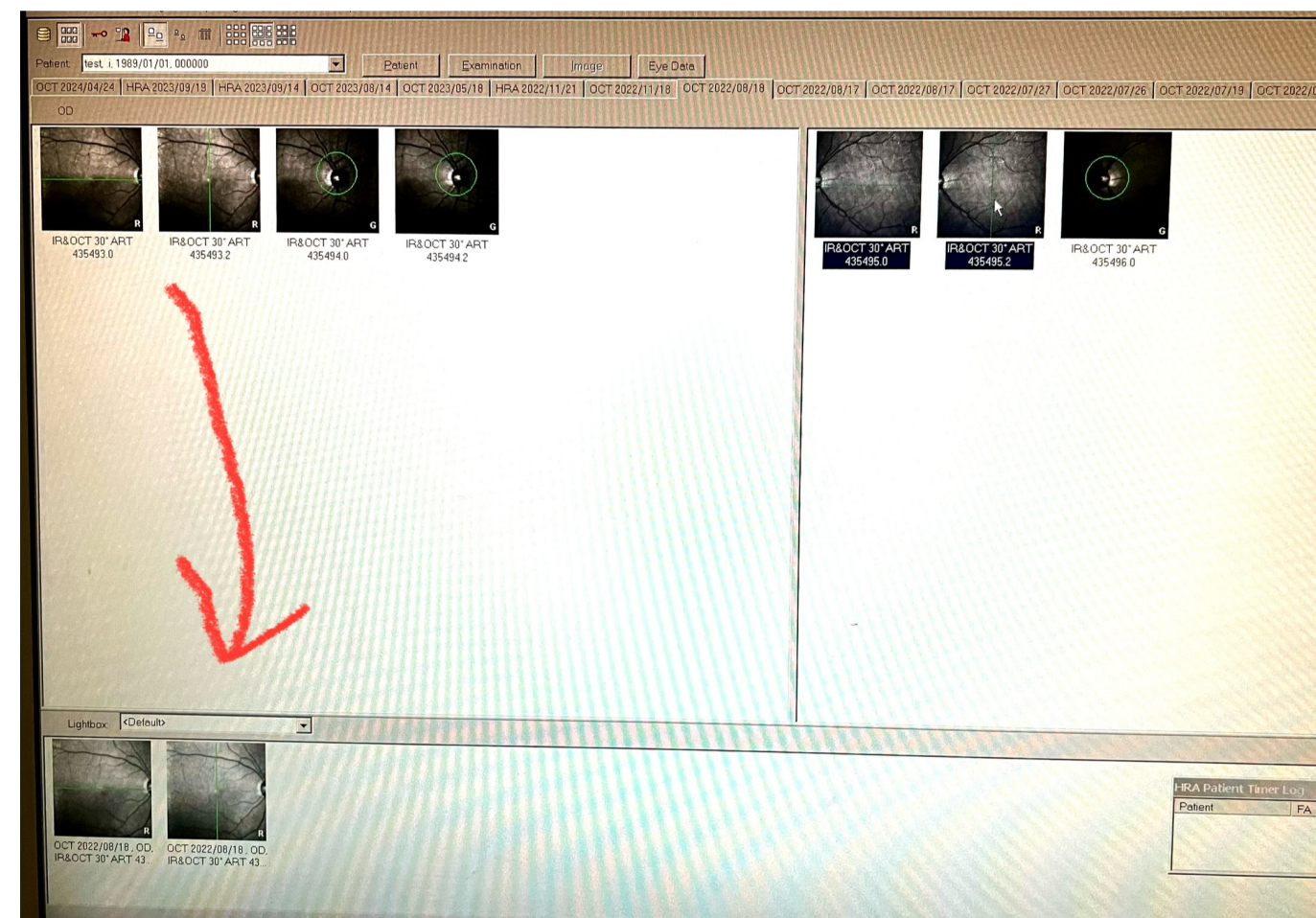
上部のEXITを押す。



データを送る

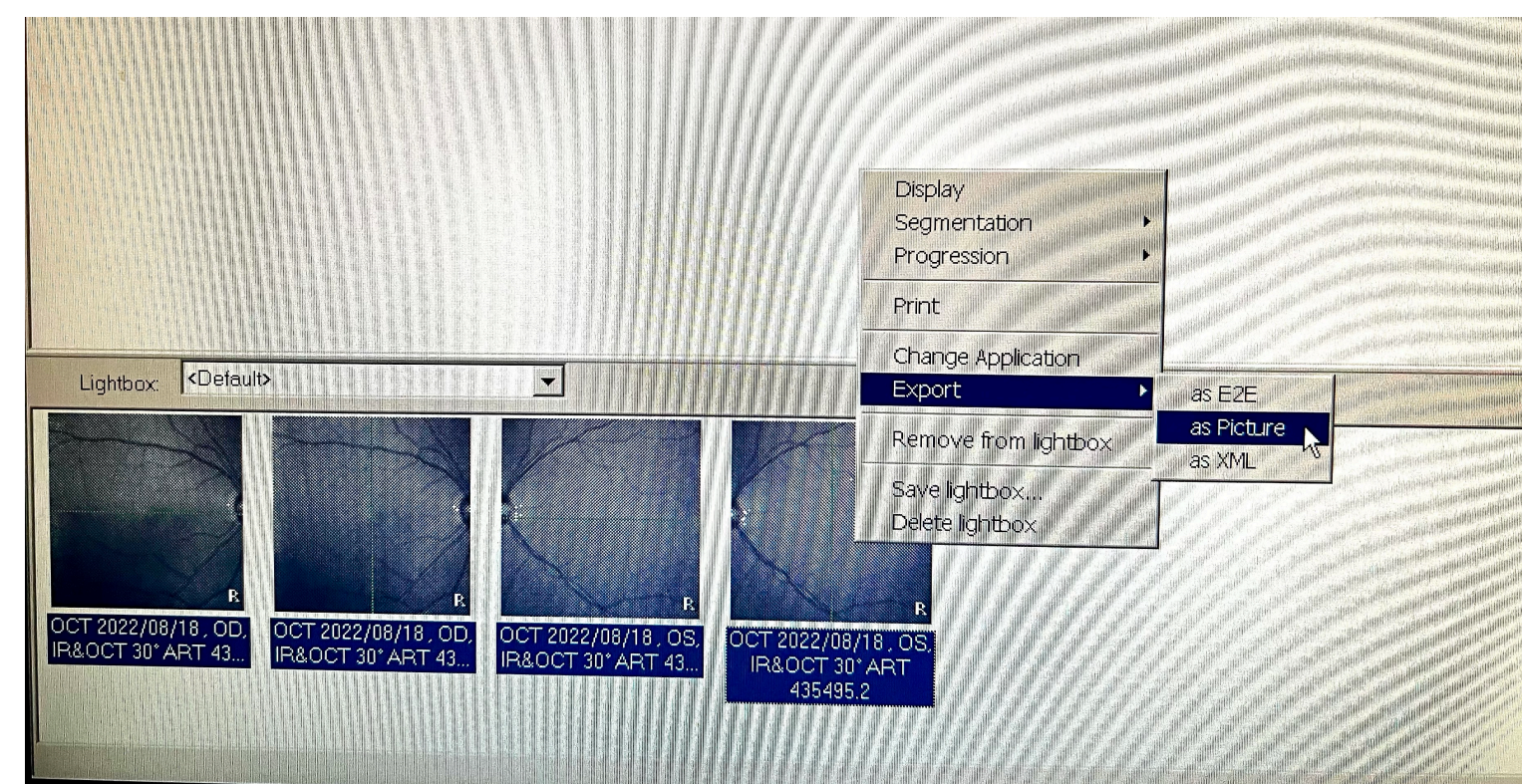
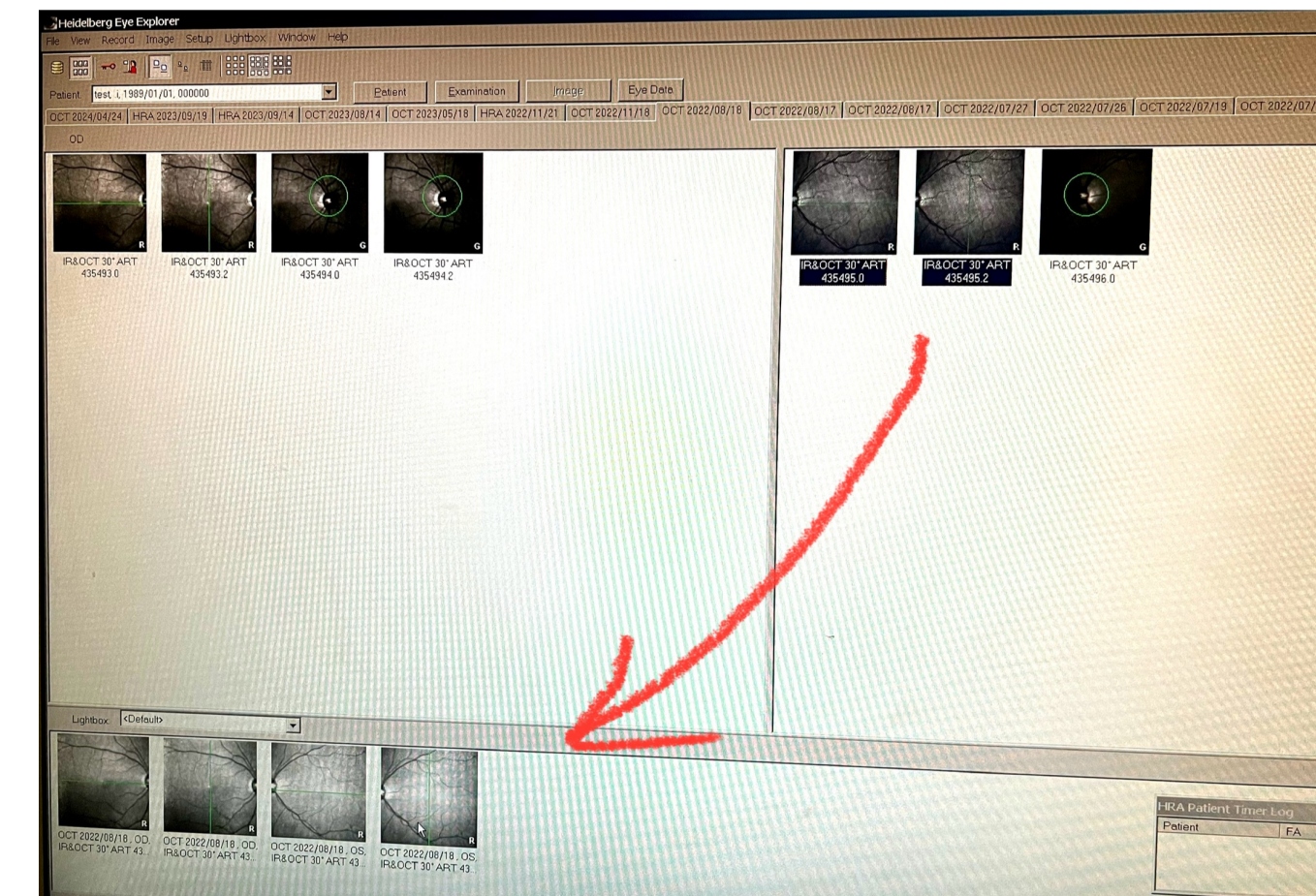
黄斑を送る

- ・黄斑は縦と横を左右それぞれ選択して、ドラックして下方のlightboxに移動させる。
- 移動させたもの全てドラックして、右クリックを押してExport→As picture



画像の下からドラッグすると横に引っ張りやすい

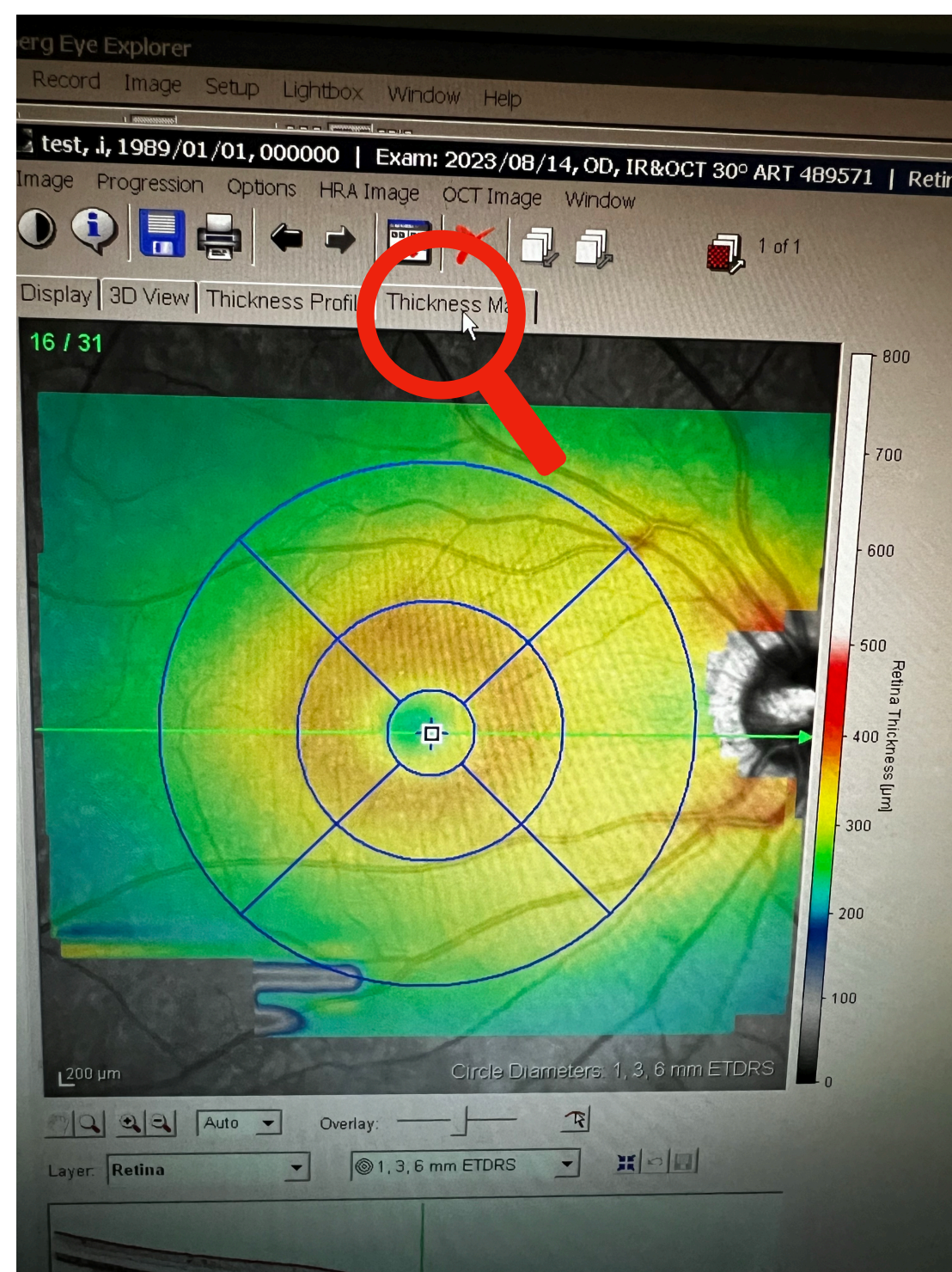
左右それぞれ
下方に移動



データを送る

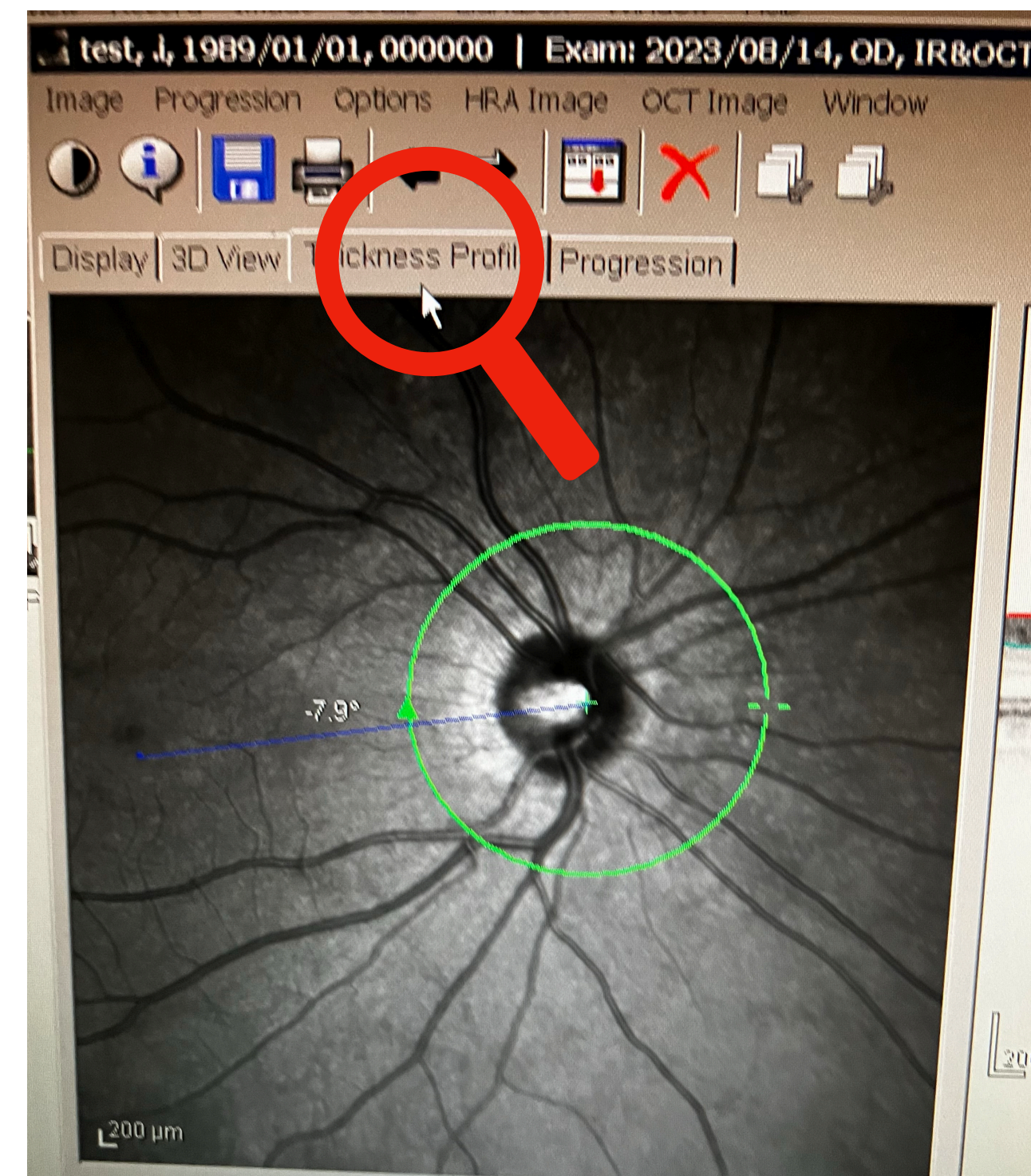
MAP

画像を一枚ずつダブルクリックして、Thickness Mapを押し、Saveで送る。



Disc

画像を一枚ずつダブルクリックして、Thickness Profileを押し、Saveで送る。



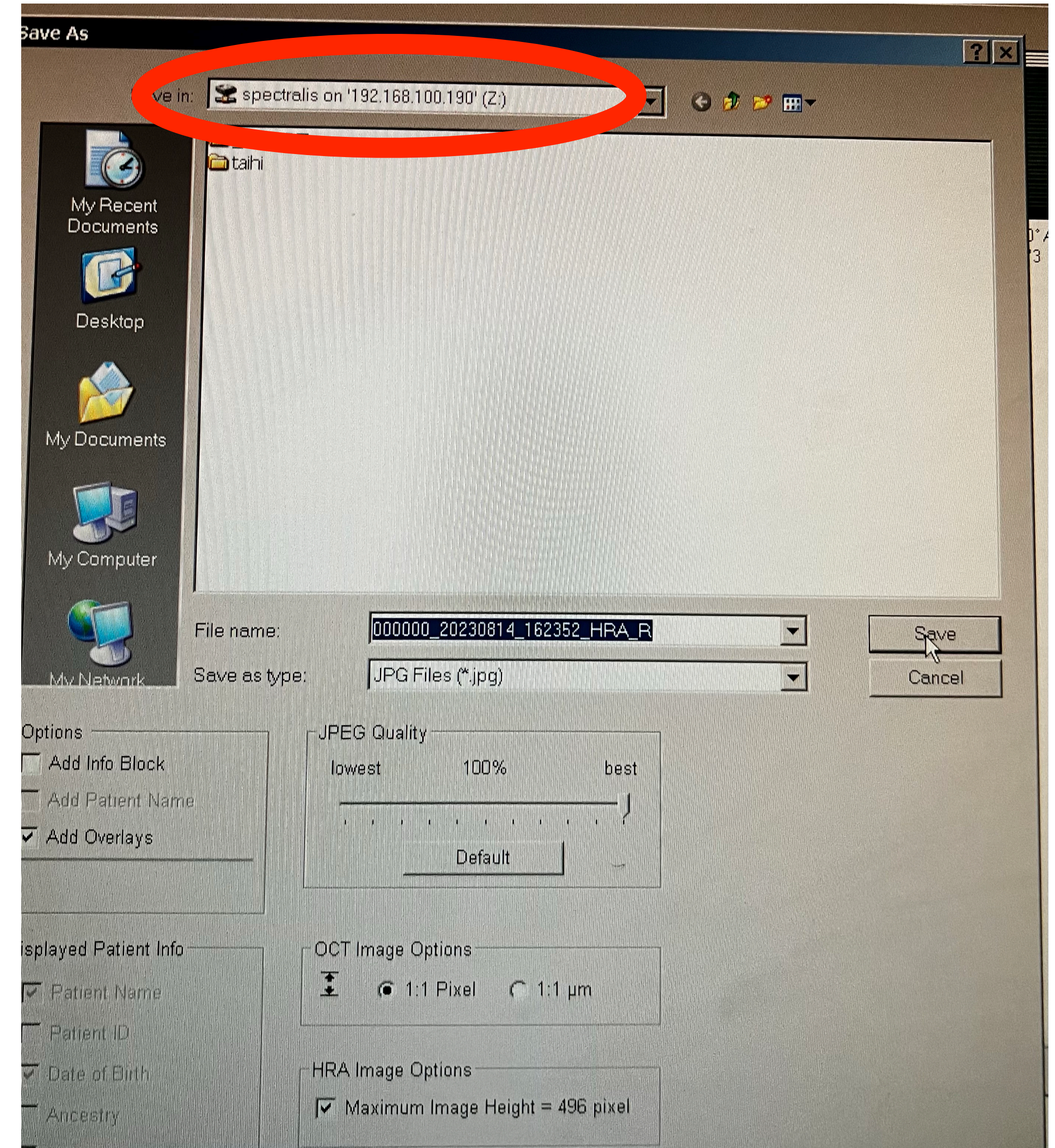
送信先画面が出てくるので、

spectralis on '192.168.100.190' (Z:)

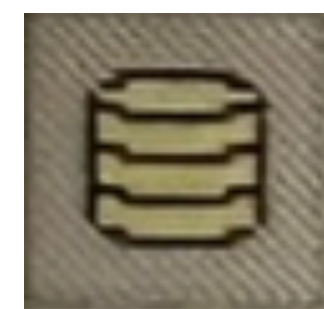
と送り先になっている事を確認し、

(通常はこの送り先になっているのでそのままOK)

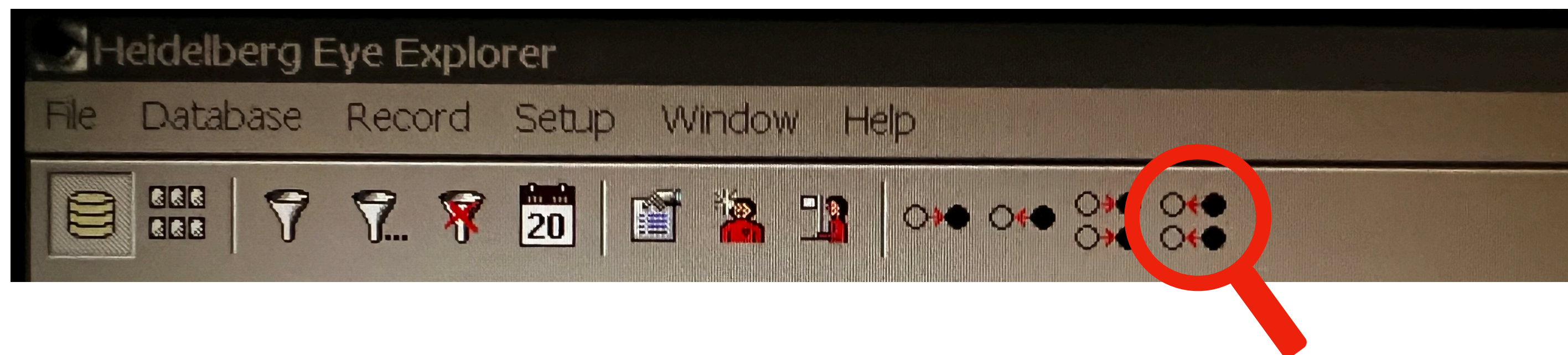
Saveを押して電子カルテへ送る。




送り終わったら、



コインマークを押す



ポップアップメッセージが出てくるので、YES→OK

1番上のマーク  を押して、

右画面白紙にする。

次の人がすぐに入力、撮影が出来るように

Nameが青色になっているのを必ず確認して終了。

※データの送り方は新規or既存患者同じです。

